

平成30年度文京区障害者地域自立支援協議会

第4回障害当事者部会 次第

平成31年1月23日(水) 午後2時から午後3時30分まで
文京区民センター3階 3-C会議室

1 開会挨拶 障害当事者部会 小和瀬部会長より
目安：午後2時5分～

2 自己紹介(新しい参加者の方がいた場合)
目安：午後2時10分～

3 議題

(1) 広報誌の発行、内容について

(途中休憩15分程度)

4 その他

【事前配布資料】

資料第1号 広報誌発行に向けて必要なこと・決めていくこと
資料第2号 障害当事者部会広報誌VOL.2

こうほうしはっこう む ひつよう き
広報誌発行に向けて必要なこと・決めていくこと

- ① こんねんどはっこう 今年度発行するか・しないか

- ② こうほうし しめん おお ないようりょう 広報誌の紙面の大きさや内容量について

- ③ こうほうし ないよう 広報誌の内容について

- ④ やくわりぶんたん 役割分担

- ⑤ こんご 今後のスケジュールについて

- ⑥ はいふさき 配布先について

- ⑦ ほか その他

ながの 永野さんの声
はじめのMLKにしてよしバ
んまよりになった
人のはなしをまくとじかん
からはっぴようできるよ
うになりたい

私達が会合で出している
意見が少し上の方に聞き入れて
たき障害のある方が安心して生活できる
様世の中になつた皆様が少しづつでも幸せに
なれると思います。私でも障害のある方に
困っている方がいらしたら微力ながら手助け
出来る様頑張りたいと思います。福田美紗子
福田さんの声

はじめはドキドキ
したけれどなれきたら
ひとはなしをするのが
たのしくなりました。

すぎさき 杉崎さんの声
僕がリアクティブにしており極味
でゴムおみやげCDを聞いておいてお
いふふいふお話を販売しているのでも
買って下さい。この本を際にお集のお話
へ観望にいらして下さい。お集のお話
お集のお話

ともだち 友達になろう、仲間を作ろう！
わたし 人と 人と
私は人と人とのつながりを大切に
したいとおも

あまの 天野さんの声



ぼく クラウス
盲導犬 クラウスです。
ぼくと いっしょに
歩きましょう！

おい 老さんの声
週5日(月~金)は、金杏
企画三日移居お室にて就労
のためのプログラムを受けとります。
その時はPCとコンピュータ
マウスを作った、プロジェクト
で大画面とYouTubeDVD
を毎日見たりします。

とうじほい 当事者部会を「アライバイ作り大義名かお
飾り・ガス抜き」で終らせたくない。外から
見えず理解されず進んで行かない精神障害
の代表の以上全障害の部会長の2つの立場
の両立は、配慮が必要でムズカシ。障害が
あったからこそ出来る仕事も、続けたい。
こわせ 小和瀬 芳郎さんの声

共生社会について

へいせい 平成29年1月12日(木) 老 孝明

障害の有無や程度によって、分け隔てられることなく、その人がその人なりの個性を持って、お互いに人格を尊重しあいながら、一緒に暮らすことができれば良い。

その人なりとは、たとえば、歌が歌がきれいだったり、詩や文章・絵画などがうまかったり、ものづくりなどしたり、真面目だったり、おとなしかったり、親切・やさしかったりなどのその人をあらわす形容詞を言う。それぞれがそれぞれの表現をする。その人ならではの表現。人は、何がしかのその人なりの活動をしているので、そのことを尊重しあい、ともに暮らす。

その人なりは、あるがままで良いではないか？

またその人の気持ち、心情などをくんで、ともに暮らそう！

健康でも、その人なりはある。障害者でもその人なりはある。

やさしい、親切、きがきくなどのその人の人なりを、重んじよう。お互いにそういうことができれば、やさしい社会、親切な社会、きがきく社会が創れる。

障害者は、今まで差別やイジメなどによって卑屈になっていたが、今や世の中が社会的弱者(マイノリティ)などの表現を認める時代になってきているので、大いに「共生社会」を啓発し、発信して、少しずつ、この「共生社会」に世の中を近づけようではないか！

障害を持ちながらも生活している「生の声」を発信して、お互いの気持ちや心情をくむ啓発活動を障害者側からも発信できる「機会」をこの「障害当事者部会」に求めたい。

人は差別するもの。差別によって、「自分のアイデンティティ」を求める、そういう人もいる。人より「金持ちになりたい」「社会的地位が高い」などの「欲」を追求する、このことが「経済活動」を活性化させたりもする。意地の悪いことも「良い結果」につながることもある。

はたしてこれでいいのだろうか？

意地の悪い分、どこかに「シワヨセ」がきていないか？

何かを犠牲にして、はたして「良い結果」と言えるのだろうか？

「良いこと」ばかりではない。「不利なこと」も補わなければ、健全とはいえない。

社会的弱者特に障害者を切り捨てる・隔離するなどのことが、いまだに行われているが、これで「良い結果」を導けるだろうか？

疑問である！！

「アンダーコントロール」「フォローアップ」など必要なことは、必要であるが、障害者との「共生社会」の方が、やさしい・親切・きがきく「社会」であると考える。

「差別」をなくすことは、難しいが、限りなくなくすことは、人の努力によってできるのではないか？

「差別」というよりかは、「区別」という言葉を使おう。区別するということで、障害者もアイデンティティが持てる。個々のアイデンティティが、健常者も障害者もあり、お互いその「いい所」を認めるような活動が必要である。健常者と障害者の垣根を越えたこのアイデンティティで「共に暮らす社会」を実現してゆこう！

あまのぶくぶかいちよう あいさつ 天野副会長 挨拶

「しょうがい」や「違い」を大切に、共に主
張し理解し譲り合う。まず「しょうがい
当事者」から新しい価値観を
創造していきたいと思ひます。



いいん にちじょう 委員の日常

まいしゅうきんようび くもん い べんきよう
毎週金曜日は公文に行っていて勉強が
たの 楽しいです。やす 休むことはありません。
しょうがいしゅ じゆう おんがく
障害者と自由にダンスをしたり音楽を
たの 楽しんだ大会でした。やきゅう み い
サッカーを見学に行き、自分で券を買って
こでも行けます。おうめ い 行きました。グ
グループホーム「エルムンド」のひとがはなさ
きまつりに行ってみたらとすすめてくれ
て、とうき つく 陶器を作り、できあがりました。
ながの えいいちろう
永野 栄一郎

ぜんかい ぶんきようそうごうふくし わたくしごと
前は、文京総合福祉まつりに私事
でさんか でき 参加出来ませんでした。みなさま たの
にせっきやく すがた み 接客している姿を見て、すごくうれ
おも 思いました。今回は必ずさんか させ
だきます。この様な催しが広がり、一人
もおお かなた さんか でき 多くの方が参加出来、お友達が沢山でき
るとよいですね。しょうがい 障害があろうと、けん
じょうしゃ でいようと いっしょ 一緒に住み仲よく暮らせ
る世の中になったら しあわ 幸せです。
ふくだ みさこ
福田 美紗子

ぼく へいじつ 「は〜と・ピア」という事業所へ通っていて、わりばし ふくろい か もの にゆうよく
僕は平日「は〜と・ピア」という事業所へ通っていて、割箸の袋入れや書き物、入浴をして
す 過ごしています。リアン文京へ入所して、週末はガーデニング講座や料理教室に参加し
ていて、いそがしくも楽しい毎日です。 すきさき ゆうすけ
杉崎 裕介

ぶんきようく
文京区
しょうがいしゅちいきじりつしえんきようぎかい
障害者地域自立支援協議会
しょうがいとうじしゅぶかい
障害当事者部会
こうほうし
広報誌 Vol. 2

へいせい ねんど しょうがいとうじしゅぶかいかつどうきらく ～平成28年度 障害当事者部会活動記録～

しょうがいとうじしゅぶかい ぶんきようくしょうがいしゅちいきじりつしえんきようぎかい ぶんかい
障害当事者部会とは、文京区障害者地域自立支援協議会の4つある部会の中の
1つです。しょうがい も ひとひと 一人ひとりが、自分達の暮らしについてかんが 考
から行っています。参加している委員としては、しんたい ちてき せいしん しょうがい ひと
難病をお持ちの方々が構成されています。

へいせい ねん がつ にち と 13日 (日)
平成28年11月12日(土)・13日(日)
ぶんきようそうごうふくし まつ さんか
文京総合福祉センター祭りへの参加
… シンポジウム開催および、基幹
そうだん しえん きょうどう ばいてん
相談支援センターと協働し売店で
だ が し はんばい おこな
駄菓子販売を行った。



く いいん 区委員からのメッセージ

ことし いいんにんき さいしゅう
今年、委員任期の最終

ねん しょうがい
年になることから、障害

りかい ぶんか しょうほう
理解を深めるための情報

はっしん すす
発信をいっそう進めていた

だきたいと思ひます。

しょうがいふくしか なかじま かずひろ
障害福祉課 中島 一浩

ほしよにん ひとこと 補助人からの一言

へいせい ねんど ちてき しょうがい かた
平成24年度から知的に障害がある方
の補助人として部会に参加させていただ
いてます。まじめ たの はな あ みりよく
真面目で楽しい話し合いが魅力
です。ぶんきようえんじゅ かい まつした こういち
文京 槐の会 松下 功一

と あ さき 【問い合わせ先】

ぶんきようくしょうがいしゅちいきかんそうだんしえん
文京区障害者基幹相談支援センター

TEL : 03-5940-2903

FAX : 03-5940-2904

はっこうび へいせい ねん がつ にち
発行日 : 平成29年 8月 31日



へいせい ねん がつ にち と
平成29年3月19日(土)

とうようだいがく さんか
東洋大学でのシンポジウムに参加

とうじしゅ かつどう いぎ
『当事者が活動する意義』

